



埼玉県マスコット「コバトン」

平成30年度

埼玉農業大賞表彰式

と き：平成30年11月17日(土)

ところ：朝霞の森 広場

Saitama Agricultural Awards



朝霞のにんじん



©ASAKA POPOTAN

— 埼玉県 —



目 次

埼玉農業大賞について	1
選考経過報告	2
埼玉農業大賞受賞者	3
埼玉農業大賞 農業ベンチャー部門受賞者紹介	4
有限会社 ファームヤード	5
株式会社 渋谷農園・渋谷	6
埼玉農業大賞 地域貢献部門受賞者紹介	7
浅川 俊夫・とし子	8
埼玉ひびきの農業協同組合	
上里一元出荷協議会有機 J A S 部会	9
加須市騎西いちじく組合	10



このたび平成30年度埼玉農業大賞を受賞された皆様に心からお祝いを申し上げます。

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営や新規性、独創性のある技術により今後大きく飛躍が見込まれる方や、地域農業の振興や活性化に貢献されている方の功績を称えるとともに、そのビジネスモデルを広く発信し、本県農業を持続的に発展させていくことを目的にしています。

受賞された皆様の農業に懸ける思いと不断の努力に対し深く敬意を表するとともに、今後とも、優れた技術力や経営能力を存分に発揮し、埼玉農業の発展に格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、本県は、温暖な気候や肥沃な土壌、豊かな水に恵まれています。また、大消費地である首都圏に位置し、道路網や鉄道網が充実した交通の要衝であり、多数の食品関連企業が立地しています。

これらの強みを生かし、本県では産出額が全国第4位の花き、第7位の野菜をはじめ、米、麦、果実、畜産など多彩な農畜産物が生産されています。県内で農業経営を志す新規就農者や農業参入企業は年々増加しており、観光農園や農畜産物を自ら加工・販売する農業の6次産業化も盛んに行われています。

一方で、農業の課題として「稼ぐ力」の強化が挙げられます。そこで、県ではAIやICTを活用したスマート農業を推進し、生産性向上を図っています。また、経営感覚を身につけた担い手の確保・育成や農業経営の法人化などを進めています。今後も、生産者の皆様の御努力が所得の増大に結びつき、埼玉農業が更に元気になるよう支援してまいります。

結びに、本日受賞された皆様の今後ますますの御活躍を祈念するとともに、本事業に御協力いただいた皆様に心からお礼を申し上げます。

平成30年11月17日

埼玉県知事 上田清司

埼玉農業大賞について

(1) 趣旨

埼玉農業大賞は、革新的な農業経営に取り組む方や、新規性、独創性のある技術を持ち今後大きく飛躍が見込まれる方、地域農業の振興に優れた功績を上げている方に、知事の表彰状を贈り、その成果を称え広く紹介することによって、本県農業の持続的な発展に資するものです。

(2) 表彰

賞の対象は、県内で意欲的に農業を営む個人・法人又は団体とし、埼玉農業大賞に、農業ベンチャー部門および地域貢献部門を設けています。

表彰は、農業ベンチャー部門および地域貢献部門で、最も優秀な者それぞれ1点を大賞とし、また、大賞に次ぐ優秀な者それぞれ原則1点を優秀賞として賞します。

(3) 主催

埼玉県

(4) 後援

埼玉県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会埼玉県本部
埼玉県信用農業協同組合連合会、埼玉県農業共済組合
一般社団法人埼玉県農業会議、公益社団法人埼玉県農林公社
一般社団法人埼玉県畜産会

(5) 特別協賛

J Aグループさいたま
株式会社協同商事コエドブルワリー、株式会社ひびき
弓削多醤油株式会社、お菓子な郷推進協議会

選考経過報告

(1) 募集

農林振興センター、市町村等の長に対し、平成30年5月15日（火）から平成30年7月6日（金）までの間、埼玉農業大賞の募集を実施した結果、農業ベンチャー部門6点、地域貢献部門12点の推薦がありました。

(2) 選考

埼玉農業大賞表彰要綱第5条第2項の規定に基づき、埼玉農業大賞選考委員会を組織し、次のとおり選考委員会を開催しました。

ア 埼玉農業大賞選考委員会幹事会の開催

平成30年9月5日（水）、埼玉会館5D会議室において、埼玉農業大賞選考委員会幹事会を開催し、予備選考を実施しました。

イ 埼玉農業大賞選考委員会の開催

平成30年9月13日（木）、埼玉会館4C会議室において、埼玉農業大賞選考委員会を開催し、農業ベンチャー部門・地域貢献部門で大賞及び優秀賞の選考を実施しました。

埼玉農業大賞選考委員会

役 職	氏 名	備 考
委員長	西崎 泉	学識経験者
副委員長	小池 和明	埼玉県農業協同組合中央会常務理事
委 員	江口 幸治	埼玉大学大学院人文社会科学研究所准教授
委 員	近藤美恵子	中小企業診断士
委 員	錦織 秀一	㈱日本政策金融公庫さいたま支店農林水産事業統括

(3) 選考結果

推薦されました事例はいずれも革新的な農業経営に取り組み、また、地域農業の振興や活性化に優れた活動を行うものであり、選考は難航しました。

選考の結果、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門の大賞として1法人、優秀賞として1法人、地域貢献部門の大賞として1名、優秀賞として2団体を平成30年度埼玉農業大賞受賞者といたしました。

埼玉農業大賞受賞者

(1) 農業ベンチャー部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>ゆうげんがいしゃ</small> 有限会社 ファームヤード (深谷市)
優秀賞	<small>かぶしきがいしゃ</small> <small>しぶやのうえん</small> <small>しぶしょう</small> 株式会社 渋谷農園・渋谷庄 (越谷市)

(2) 地域貢献部門

敬称略

区 分	受 賞 者 名
大 賞	<small>あさかわ としお こ</small> 浅川 俊夫・とし子 (朝霞市)
優秀賞	<small>さいたま のうぎょうきょうどうくみあいかみさといちげんしゅつ かきょうぎかい</small> 埼玉ひびきの農業協同組合上里一元出荷協議会
	<small>ゆうき ぶかい</small> 有機JAS部会 (上里町)
	<small>かぞしきさい くみあい</small> 加須市騎西いちじく組合 (加須市)

埼玉農業大賞
農業ベンチャー部門
受賞者紹介

農業ベンチャー部門 大賞

ゆうげんがいしゃ 有限会社 ファームヤード

1 経営概要

- (1) 所在地 深谷市
- (2) 代表者名 代表取締役 よしおか 吉岡 しげあき 重明
- (3) 経営内容 キャベツ20ha、ねぎ13ha等

2 受賞理由

- (1) 明確な経営理念と高い目標を掲げ、チャレンジ精神を失うことなく、攻めの姿勢で毎年、経営が拡大している。(従業員：46人、経営規模：61ha)
- (2) ほ場の集約化や大型機械の導入等による省力化、業務用野菜の契約栽培、国際水準GAP認証の取得など、露地野菜のモデル的経営体である。
- (3) 社員教育にも力を入れており、これまで9人の社員が独立新規就農を果たすなど地域の担い手育成にも貢献している。



有限会社 ファームヤード
代表取締役の吉岡重明氏



(有)ファームヤードの皆さん
(中央が吉岡重明氏)

農業ベンチャー部門 優秀賞

かぶしきがいしゃ しぶや のうえん しぶしょう
株式会社渋谷農園・渋谷

1 経営概要

- (1) 所在地 越谷市
- (2) 代表者名 代表取締役 しぶや 渋谷 きよはる 喜代治
- (3) 経営内容 ほうれんそう5.2ha、ねぎ2ha、
スイートコーン0.7ha等

2 受賞理由

- (1) 実需者ニーズに応えた高品質な農作物生産のため、土づくりを主眼におき周年安定生産を確立している。(経営規模：9.0ha)
- (2) いち早く6次産業化に取り組み、経営を多角化したことで安定した収益が確保されている。
- (3) 数多くの研修生を受け入れるなど地域の担い手育成への貢献も大きい。



株式会社渋谷農園・渋谷
代表取締役 渋谷喜代治氏



(株)渋谷農園・渋谷の皆さん
(左から2番目が渋谷喜代治氏)

埼玉農業大賞
地域貢献部門
受賞者紹介

地域貢献部門 大賞

あさかわ とし お こ
浅川 俊夫・とし子

1 経営概要

- (1) 所在地 あさかし
朝霞市
- (2) 経営内容 さつまいも 0.8ha、じゃがいも 0.2ha等

2 受賞理由

- (1) 都市化の進展が著しい地域の中で、消費地の中にあるという地の利を生かし、コインロッカーを使用した庭先販売や、さつまいもの収穫体験など、都市農業モデルの礎を築いた。
- (2) さつまいもを「あさかかんしよ朝霞甘藷」と名付けブランド化するとともに、市内の商工業者と協力した焼酎開発など、朝霞市農産物の魅力発信に尽力している。



浅川さん御夫婦と従業員

(一番右が浅川俊夫氏、中央がとし子氏)



さつまいも収穫体験の様子

地域貢献部門 優秀賞

さいたま のうぎょうきょうどうくみあい
埼玉ひびきの農業協同組合
かみさといちげんしゅつ か きょうぎ かいゆう き ぶ かい
上里一元出荷協議会有機JAS部会

1 経営概要

- (1) 所在地 上里町
- (2) 代表者名 代表 石井 慎也
- (3) 構成員 12人

2 受賞理由

- (1) 有機JAS認証を取得した農産物を生産するとともに、新たな生産者に対しては、栽培技術の指導や共同での収穫・出荷を行うなど受け入れ体制を整備している。
- (2) 有機農業を付加価値として収益を上げる経営は、有機農業に取り組むモデルとなっている。



有機JAS部会の皆さん
(中央が代表の石井慎也氏)



共同でのえだまめ調製作業

地域貢献部門 優秀賞

かぞしきさい くみあい 加須市騎西いちじく組合

1 経営概要

- (1) 所在地 加須市
- (2) 代表者名 代表 まつむら ひろし 松村 廣司
- (3) 構成員 29人

2 受賞理由

- (1) 水田転作作物として、県内でいち早くいちじく栽培を始め、埼玉のいちじく産地をリードしている。
- (2) 他産地に栽培技術供与を惜しまない姿勢を貫き、県産いちじくの出荷量拡大に大きく貢献している。
- (3) 全量検査による出荷で市場から高い信用を得ている。



加須市騎西いちじく組合の皆さん
(2列目右端が代表の松村廣司氏)



組合役員による出荷物
全量検査の様子

あなたにおすすめの
「旬」な情報をお届け

スマホアプリ
登場!!



JA旬みっけ?



今すぐ**無料**でアプリをはじめよう!



旬の情報を
どこでもチェック



お近くのJA・ファーマーズマーケットを登録すると、あなたにぴったりのお得な情報を、続々配信。気になったニュースは「みっけ」しておけば、いつでも読み返せるからとっても便利!

※画面は開発中のものです



旬の食材を
いつでもチェック



100種類を超える野菜・果物が収録された「旬の食材辞典」には、毎日の食事に役立つ情報がたくさん! ボタン一つでその時に旬な食材の、様々な情報がわかります。